

幼児教育学科

■ 氏名	阿部 直美
■ 最終学歴	大阪樟蔭女子大学学芸学部 児童学科 卒業
■ 学位	家政学士
■ 担当科目	教育課程論
■ 主な著書・論文	
著書	乳幼児の発達臨床心理学 理論と現場をつなぐ (共著) 平成28年5月
著書	教育・保育方法～実践のための理論と実際～ (共著) 平成30年3月
著書	すぐに役立つ教育実習のエッセンス (共著) 令和2年3月
論文	子どもの主体的な活動を促す保育者の援助と子ども理解～子どもの言葉「うれしかった」「たのしかった」体験を通して～ (共著) 平成29年8月
■ その他	
学会発表	子どもの言葉「うれしかった」にみる個々の育ちと保育者の援助 (共同) 平成26年5月
学会発表	保育者養成校に通う学生の職業選択要因について (共同) 平成30年5月
研究ノート	保育者養成校に通う学生の職業選択要因について (共著) 平成31年3月
実践報告	教職支援センター活動報告③ ～面接指導(幼稚園・保育所・こども園)を中心として～ (単著) 令和3年3月

幼児教育学科

■ 氏名	岡島 泰三
■ 最終学歴	関西学院大学大学院文学研究科博士課程後期課程教育学専攻満期退学
■ 学位	博士(教育心理学)
■ 担当科目	教育心理学
■ 主な著書・論文	
論文	青年期におけるアタッチメントスタイルの変化と恋人の応答性 (単著) 平成22年8月
論文	青年期の愛着スタイルと自立との関連 (共著) 平成24年3月
論文	青年期におけるアタッチメントスタイルと対人認知: 交際期間の違う恋人の応答性の認知 (共著) 平成24年12月
論文	青年期の愛着スタイルと情動生起の関連性について (共著) 平成26年3月
論文	青年期・成人期のアタッチメントスタイルに関する研究—内的作業モデルの変化と機能— (単著) 平成26年3月

幼児教育学科

■ 氏名	河上 雄紀
■ 最終学歴	兵庫教育大学大学院学校教育研究科 人間発達教育専攻 修士課程 修了
■ 学位	修士(学校教育学)
■ 担当科目	保育内容の指導法(人間関係)
■ 主な著書・論文	
論文	社会不安の程度が視線の検出速度に及ぼす影響-視覚探索課題を用いた検討-(単著) 平成27年3月
論文	社交不安は視線の検出を速める-視覚探索課題を用いた検討-(共著) 令和3年12月
■ その他	
学会発表	社交不安は視線の検出を速める-視覚探索課題を用いた実験的検討-(共同) 平成29年9月
学会発表	接触機会が少ない恐怖対象にどのように挑戦するか-祖父母宅の二階恐怖とテレビ恐怖に対応した事例-(単独) 平成30年10月
学会発表	「最近のトラウマ」へのEMDRの適用事例 —R-TEPの有効性— (共同) 令和3年10月
学会発表	”人見知り”に悩む大学生に対する行動療法的アプローチ—他者の行動観察と話題設定の効果— (共同) 令和3年10月

幼児教育学科

■ 氏名	中澤 鮎美
■ 最終学歴	大阪経済大学大学院人間科学研究科臨床心理学専攻 修了
■ 学位	修士(臨床心理学)
■ 担当科目	幼児理解・教育相談
■ 主な著書・論文	
著書	乳児観察と調査・研究: 日常場面のこころのプロセス (共著) 平成27年5月
著書	子どものこころの発達を支えるもの (共著) 平成28年1月
論文	絵本の読み聞かせ体験とクライアントの語り (単著) 平成24年6月
論文	登校しぶりをする小学生男児との面接過程 (単著) 平成25年6月
論文	児童養護施設に入所する子どもが抱える問題とその情緒的傾向、および心理士の役割 (単著) 平成29年6月

幼児教育学科

■ 氏名	馬場 住子
■ 最終学歴	大阪総合保育大学大学院児童保育研究科 児童保育学専攻 博士後期課程修了
■ 学位	博士(教育学)
■ 担当科目	教育原理
■ 主な著書・論文	
著書	科学絵本ガイドブック (共著) 平成29年12月
著書	保育の学びファーストステップ (共著) 平成30年3月
著書	暮らしを見つめて、そこから始める持続可能な社会 (共著) 平成31年4月
論文	フレーベル『母の歌と愛撫の歌』に付けられたコール作曲の44曲の楽曲 の分析 (単著) 平成27年8月
論文	小学校「生活科」に繋がる就学前教育への一考察-『幼稚園教育学』にお けるフレーベルの教育方法と教育思想を基に- (単著) 平成28年3月
論文	小学校生活科に繋がる就学前教育への一考察-フレーベル『母の愛と愛 撫の歌』の教育方法との比較から- (単著) 平成28年8月
論文	自然環境における体験を重視した教育への一考察-フレーベル教育論 文「地理学の教授」を基に- (単著) 平成30年8月
論文	支援が必要と考えられる保護者に対する保育者の取り組み-アンケート 調査における成功事例、困難要因、今後必要な取り組み- (単著) 平成31年3月
論文	現代教育課程への提言-フレーベル教育論文「マイニンゲン領ヘルバに 計画された国民学校」との比較を基に- (単著) 令和元年8月
論文	園芸療法士の資格を持つ保育士養成の意義・フレーベル『母の歌と愛撫 の歌』に描かれた教育思想を基に (単著) 令和2年3月
論文	現代教育課程への一低減・フレーベル教育論文「ヴァルテンゼー学園の 告示」および「人の教育の概要」に描かれた教育課程を基に (単著) 令和2年8月

幼児教育学科

■ 氏名	山本 悦代
■ 最終学歴	大阪大学大学院人間科学研究科 行動学専攻 博士前期課程修了
■ 学位	学術修士
■ 担当科目	特別支援教育
■ 主な著書・論文	
著書	アタッチメントの実践と応用 (共著) 平成24年8月
著書	みんなで考える性分化疾患 (共著) 令和元年9月
■ その他	
雑誌	特集-周産期医療を支える仲間たち-周産期分野で協働する職種「臨床心理士-発達・知能検査」(単著) 平成24年6月
電子ジャーナル	大阪母子医療センターでの移行支援-赤ちゃんから始まる親と子への移行支援(単著) 平成30年11月